

令和3年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）
（最終変更令和4年3月1日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 鶴岡公園園内整備事業	3
2 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業	4
3 門前町歴史まちづくり活動支援事業	5
4 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	6
5 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	7
6 松ヶ岡振興支援事業	8
7 史跡内及び周辺修景整備事業	9
8 蚕室群活用整備事業	10
9 シルクタウンプロジェクト推進事業	11
10 歴史まちづくり人材育成事業	12
11 城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業	13
12 市指定有形文化財大宝館整備事業	14
13 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	15
14 民俗芸能保存伝承支援事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	17
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	18
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 城下町鶴岡の歴史伝える「荘内大祭」ほか38件	20
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	21
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	22

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び企画部政策企画課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する主務担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)を中心として文化財事業を所管する教育委員会社会教育課が連携し、3地区で持ち回りのシンポジウムの開催を行うなど計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力発信に努めている。会議等の開催は、令和4年2月9日に副市長が会長である庁内関係部課長による推進会議、同2月16日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、関係課担当者会議を実施し、計画の適正な執行と円滑な進行管理を図っている。

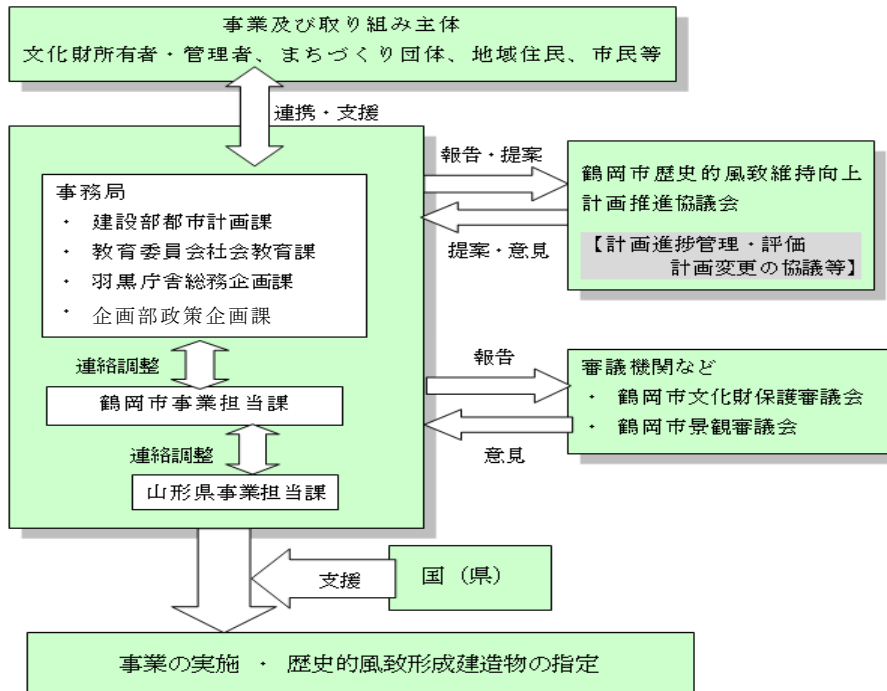
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- | | |
|--|--|
| 令和3年度庁内推進会議(令和4年2月9日)
①令和3年度の事業報告・事業評価について
②令和4年度の事業計画について
③鶴岡市歴史的風致維持向上計画の計画変更について | 令和3年度第10回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和4年2月16日)
①令和3年度の事業報告・事業評価について
②令和4年度の事業計画について
③鶴岡市歴史的風致維持向上計画の計画変更について |
|--|--|



評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	○景観計画地域別方針との適合 ○大規模建築物等の景観に関する制限		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。 ・令和3年度は、景観計画区域内(市全域)における大規模建築行為について市全域で14件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和3年度における大規模建築物の届出 景観計画区域内における行為の届出 届出件数 14件(令和4年1月26日現在) 届出行為地域別内訳 鶴岡11件、藤島0件、羽黒0件、櫛引1件、朝日2件、温海0件 届出対象物内訳 建築物11件、工作物3件、両方0件			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
鶴岡公園園内整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶴岡公園整備基本計画に基づき、旧鶴ヶ岡城二ノ丸に位置し猿舎、禽舎があった箇所について、鶴ヶ岡城址公園のシンボルとして、歴史的風致・風格のある、市民や観光客が憩いやすさ、賑わいのある広場として整備を行うため、鶴岡公園環境整備懇談会、市民ワークショップ等を開催、正面広場整備計画を策定した。
鶴岡公園整備基本計画、正面広場整備計画等に基づき、令和3年度に測量及び実施設計を行い、令和3年度から2カ年事業として正面広場の整備を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ワークショップや専門家からの指導助言、隣接県道での埋蔵文化財の出土等により事業設計の見直しを行っている。

状況を示す写真や資料等



第1回鶴岡公園環境整備懇談会



埋蔵文化財調査状況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度 ~ 令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城内堀の周辺に位置する道路(市道鶴岡公園新形町線)の無電柱化及び修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内堀周辺道路(市道鶴岡公園新形町線)において、令和元年度に電柱移設等による無電柱化を実施した。道路の美化等の修景整備として、令和2年度に事業区間全線の下水道施設の整備L=552m及び美化のための既設舗装更新A=4060m²、車止め基礎設置N=99基を行った。
令和3年度に道路の美化化に関連する事業として、路面着色A=1651m²、街路灯設置N=11基、交通標識等の設置・塗装N=12基、車止め設置N=99基、ベンチの設置N=10基を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

道路横断部の自然石舗装については入札不調により事業設計の見直しを行っている。

状況を示す写真や資料等

【令和3年度】

○事業区間全線の「道路側溝・As舗装」、「街路灯・交通標識の設置・塗装」、「車止め・ベンチ設置」の整備を実施



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議会やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年6月に9集落目となる松原町で「まちづくり協定」が締結され、さらに手向地区自治振興会が第17回住まいのまちなみコンクールで「住まいのまちなみ賞」を受賞するなど、歴史的景観の保全・承継に対する住民意識がさらに高まった。
 また、令和2年3月に策定した手向地区まちづくりビジョンの推進に向けて、全5回の「手向地区価値再発見プロジェクト勉強会」(手向地区自治振興会主催)が開催されるなど、地域主体の取り組みが加速している。
 出羽三山魅力発信協議会では、「手向地区価値再発見プロジェクト勉強会」の内容を「手向ガイドブックvol.4」として発行、全戸配布したほか、SNSを活用した情報発信を行い、市内外に出羽三山を中心とした手向地区の魅力を広く発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

1. 第17回住まいのまちなみコンクール



令和3年11月23日 審査員による現地調査



令和4年1月15日付 荘内日報1面

2. 手向地区価値再発見プロジェクト勉強会



- 期 日
- 第1回 令和3年10月29日(金)
 - 第2回 11月 9日(火)
 - 第3回 11月24日(水)
 - 第4回 12月 7日(火)
 - 第5回 12月21日(火)



手向ガイドブックvol.4

- 発行日 令和4年3月28日
- 発行部数 500部
- 配布先 出羽三山魅力発信協議会会員・手向地区全戸 等

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し、令和3年度は7件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、令和2年度6件、令和3年度 5年間合計32件整備)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備
 門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 桜小路集落 2件(宿坊1件)…住居・車庫の外壁整備、土塁の整備、宿坊看板の整備
- 下長屋集落 1件(旅館1件)…住居兼店舗・車庫の外壁整備
- 鶴沢町集落 1件(住宅1件)…住居・車庫の外観整備及び門の塗替え
- 池ノ仲集落 2件(宿坊2件)…住居・車庫・門の外観整備
- 入江町集落 1件(宿坊1件)…門塀の改築

修景整備事案1



修景整備事案2



修景整備事案3



修景整備事案4



2. 「手向まちなみ委員会」の開催

- 期 日 令和3年7月12日(月)
11月10日(水)
令和4年3月15日(火)
- 内 容 申請内容等の審査・検討

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開墾150年を迎える松ヶ岡地域において、kibisoブランドの立役者であるテキスタイルデザイナーの須藤玲子氏による特別展覧会と、同氏と東北芸術工科大学学長で日本遺産アドバイザーの中山ダイスケ氏によるトークショーをオンライン配信し、鶴岡の絹文化の発展と羽黒町松ヶ岡地域における歴史まちづくりへの理解を深めた。
・展覧会来場者数 1,362人 / トークイベントアーカイブ配信視聴数 961回(令和4年1月19日時点)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○松ヶ岡開墾150年記念特別展覧会展
「サーキュラー・デザイン -kibisoはつづく-」

会期: 令和3年9月18日(土)～12月26日(日)
会場: 松ヶ岡開墾場 2番蚕室2階
入場: 無料
主催: 鶴岡市
共催: 松ヶ岡開墾150年記念イベント実行委員会
鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会
後援: 羽黒町観光協会
サーキュラー・デザイン: 須藤玲子/株式会社 布
テキスタイルおよび展示デザイン: 株式会社NUNO

○松ヶ岡開墾150年記念トークショー
「シルクの可能性と未来 松ヶ岡から世界へ」

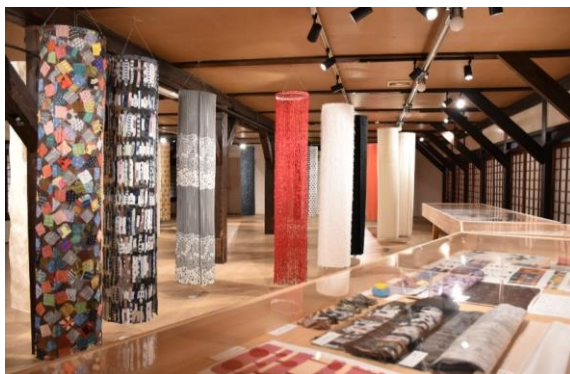
日時: 令和3年9月18日(土)14:00～16:00
開催方法: 鶴岡市公式Youtubeチャンネルにてオンライン配信
登壇者: 須藤玲子氏(テキスタイルデザイナー)
中山ダイスケ氏(東北芸術工科大学学長)
主催: 松ヶ岡開墾150年記念イベント実行委員会
共催: 鶴岡市
鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会
後援: 羽黒町観光協会



須藤玲子氏による展示説明会



鶴岡市公式Youtubeチャンネルでアーカイブ配信



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、令和3年度は、松ヶ開墾150年を冠した様々な催し等を実施し、その歴史と文化の承継と交流人口の拡大を図った。

あわせて、日本遺産としての魅力をより一層高めることを目的として、蚕室群の活用や周辺環境の整備を行っている。
 参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度 2,400人→R元年度 4,700人→R3年度 2,377人(R3.12月末)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

運営体制構築に向けて、地域プレイヤーを巻き込みながら、収益性、組織化などの強化を図る。また、令和4年度は「史跡内及び周辺修景整備事業」及び「蚕室群活用整備事業」で開墾場周辺の回遊性を高める通路・多目的広場と絹織物体験施設が完成予定。

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

- ・松ヶ岡開墾150年記念事業開始式(4/7)
- ・松ヶ岡開墾場150年記念事業 桜ライトアップ(4/7-15)
- ・松ヶ岡開墾150年記念企画展(4/7-)
- ・松ヶ岡茶復活プロジェクト 紅茶づくり(6/12-13、7/24-25)
- ・松ヶ岡開墾150年記念写真パネル展(7/31-)
- ・郵政150周年記念事業による丸型ポストの設置(8/6)
- ・松ヶ岡開墾150年記念 須藤玲子氏によるkibiso素材を中心としたテキスタイルの特別展覧会(9/18-12/26)
- ・松ヶ岡開墾150年記念トークショー(9/18)
- ・松ヶ岡音楽祭(10/16,10/23)
- ・親子で学ぶ鶴岡の絹(織り:9/26,10/3 染め:10/24,11/7)
- ・民間ワイナリーによる松ヶ岡秋の収穫マルシェ(10/30,31)
- ・日本遺産ウィークin鶴岡(2/7-2/15)
 内容:松ヶ岡開墾記念館無料開放および蚕室ライトアップ(2/11-13)



松ヶ岡開墾150年記念事業開始式



郵政制度開始150年丸型ポスト設置



松ヶ岡音楽祭・邦楽ライブ



松ヶ岡秋の収穫マルシェ



絹産業界体験ワークショップ(染体験)



蚕室ライトアップ

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
史跡内及び周辺修景整備事業 (松ヶ岡開墾場周辺環境整備) 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治初期の景観への復元を前提として修景整備を行い、創建当時の開墾の歴史が感じられ、また、史跡を活用した催事により市民の関心の高まり、来訪者等の増加により、歴史的風致の維持向上が図られる。史跡中央を東西に通る道路については、明治初期の時代背景にあった構造とし、寸法や路盤の材料を検討し整備する。また、史跡内への車の進入を禁止するための副道や駐車場を整備する。史跡内の景観形成に有効な役割を果たしている桜や松等の立木について、樹木・樹種を選定し保存・整備する。歴史的景観に配慮した看板・誘導案内板、エリアの散策途中での休憩や各種催事のための多目的広場、トイレ等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開墾場エリア内の安全性や利便性の向上、さらには周辺施設の回遊性を向上させることを目的とした通路整備と多目的広場整備の周辺環境整備を行うため、令和3年度は測量設計・用地測量・物件補償業務委託を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和3年度】

- 測量設計: 令和3年6月～令和3年12月
- 用地測量: 令和3年9月～令和3年12月
- 物件補償: 令和3年10月～令和4年1月

【工事概要図】



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業		
計画に記載している内容	松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度に史跡内土地・建造物の確実な保存・伝承のために一部財産を取得した。平成29年度から2番蚕室では休憩所開設・飲食提供、鶴岡シルクの展示販売等の活用を進め誘客を図っている。平成30年度には、松ヶ岡開墾場の本質的価値と構成要素を明らかにし、それらを適切に保存管理しながら、各種活用整備の推進の方針として「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定した。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。 令和3年度については、4番蚕室を本市近代化の礎となった絹産業の文化を発信する体験施設として、また、5番蚕室を蚕室特有の建築構造見学施設として転用するための整備事業を実施。合わせて、鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会と連携し、転用後の施設で展開する絹産業体験ワークショップやにぎわい創出イベントを試行した。 ・絹産業体験ワークショップ…織体験(9/26・10/3):親子12組31人参加、染体験(10/24・11/7):親子13組30人参加 ・にぎわい創出イベント・松ヶ岡音楽祭…10/16・邦楽ライブ:47人参加、10/23・JAZZライブ:60人参加			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得(平成28年6月)		国指定史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画(平成31年3月)	
			
松ヶ岡開墾場4番蚕室 イメージパース		絹産業体験ワークショップ(染体験) ※再掲	
			
松ヶ岡音楽祭・邦楽ライブ ※再掲			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
シルクタウンプロジェクト推進事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業面と文化面から振興策に取り組み、「ひとづくり…福栄地区における養蚕環境整備実証事業、養蚕プロジェクト」「ものづくり…kibiso等鶴岡シルク産業振興事業」「普及啓発…蚕飼育体験、シルクガールズプロジェクト支援、シルクで頑張る若者応援プロジェクト」を展開した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

シルクタウン・プロジェクトは事業開始から12年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの研究活動を取り組むなど、新たなシルクを活用した地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等

〇ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)

- ・産地高度化事業…他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルクの商品開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業…海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングやブランド構築
- ・販売促進事業…海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売

〇ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備事業)

- ・養蚕環境整備事業…閉校の校舎を活用した養蚕環境の整備と地域コミュニティの活性化
- ・養蚕プロジェクト…繭自動選別機開発、ICTによる蚕室内モニタリング・温度管理等による養蚕作業効率化

〇普及啓発

- ・蚕飼育体験…市内幼・保育園、小・中学校に蚕飼育体験キット配布(50施設、8個人・計104キッド)、3番蚕室での展示飼育
- ・シルクガールズプロジェクト支援…鶴岡中央高校生徒による鶴岡のシルクを通して「地域を元気にする」活動(食べるシルク、魅せるシルク、伝えるシルク)を支援
- ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト…シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校生が「シルク」をテーマとして取り組む課題研究へ支援。
 ※活動の成果等の発表の場となるイベント「シルクノチカラ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(2月6日・荘銀タクト鶴岡)。



kibiso・shop
(松ヶ岡開墾場2番蚕室)



蚕室での蚕の展示飼育



シルクガールズプロジェクト支援
(絹産業関連企業見学)



市内高校生による
保育園での出前講座



シルクノチカラ2020
シルクガールズコレクション

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴岡公園とその周辺地区】
・観光ボランティアガイド…鶴岡市観光ガイド協議会のボランティアガイドが市街地周辺の文化施設等を案内。同協議会では月1回会員の情報共有や研修のための例会を実施。
(令和3年度実績:回数18回、人数296人(令和3年12月末現在))

【羽黒松ヶ岡地区】
・日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)…松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」について紹介(令和3年度来館者数1,688人(令和3年12月末現在))。

※松ヶ岡本陣については、コロナ禍のため一般公開を中止。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】



観光ボランティアガイド
(鶴岡公園)



観光ボランティアガイド
(致道館)

【羽黒松ヶ岡地区】



日本遺産インフォメーションセンター
(新徴屋敷)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
城下町つるおかリブランディングプロジェクト推進事業 【鶴岡公園とその周辺地区、羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度 ～ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾150年(2021年)、酒井公入部400年(2022年)に向けて、各種調査、普及啓発を行うとともに、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年、徳川四天王のひとり酒井忠次を祖とする酒井家の庄内入部400年の節目の年に向けて、令和元年度に庄内地域の2市3町、山形県、関係機関が参画する酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を設立。令和2年度は、キャッチフレーズ等を策定したほか、記念事業の取組を検討しながら、記念事業ロゴマークを一般投票等により作成し、機運の醸成を図った。
 令和3年度は、令和3年度から4年度まで2ヶ年の全体事業計画を公開しプレ記念事業を実施。講演会(250名参加)やオリジナルグッズを活用した普及啓発をはじめ、子ども記者・中学生出前講座・高校生による古文書研究体験・動画製作といった次代に歴史文化を継承する取組、城址である鶴岡公園を起点としたモデルルートの構築とガイドブックの製作(15,000部)などによる観光受入体制の整備を行った。また、学術的な歴史講座、民俗芸能発表会での見どころ解説などを行い、歴史文化への理解促進を図った。令和4年度記念事業では、これらの実績を生かしながら、歴史と文化を生かした地元愛の醸成、にぎわいの創出を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



講演会(10/31 250名)
地域の文化を学ぶパネルディスカッションも開催



子ども記者 ①7/31湯殿山 14名
②11/20松ヶ岡 20名



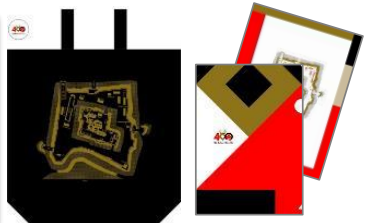
市内中学校への出前講座
(9/30)



高校生体験 ①動画製作(8/8-9) 13名
②古文書体験(11/21) 7名



ガイドブック「今も殿が暮らすまち」
(15,000部)



トートバッグ クリアファイル
オリジナルグッズ

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
市指定有形文化財大宝館整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～平成30年度、令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市指定有形文化財大宝館の修繕として、外壁塗装・木製建具改修・瓦屋根全面改修・ドーム補修及び塗装を実施するほか、1階東側を、鶴岡公園の正面広場に隣接する全天候型の休憩スペースとして活用整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大宝館は、大正4年に大正天皇の即位を記念して建設された本市を代表する洋風建築物で、現在は市の郷土人物資料館として市民や来訪者に親しまれている。 令和3年度は、鶴岡公園や大宝館の来訪者が大宝館においての休憩・トイレの利用など、天候や季節を問わずに過ごし、多世代交流が図られる施設として活用を図るため、大宝館展示室内の展示ケースの修繕及び1階東側を休憩スペースとして活用できるよう整備した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1階の活用整備 ・整備前  ・整備後 			
休憩スペース整備 ・1階東側①  ・1階東側② 			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～令和4年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成10年度から史跡内建造物の保存修理工事を実施している。令和3年度は貯桑土蔵の大規模保存修理に先立ち、工事全体の計画をするための基本設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じている。また、建物ごとに老朽化の進み方が一様でないことから、今年度は劣化の現状に合わせて計画を修正した。

状況を示す写真や資料等



貯桑土蔵(南面)



貯桑土蔵(北面)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・例年、保存継承活動のための補助金として、藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付しており、今年度も交付した。 ・丸高文化財団は榊丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。市内の無形民俗文化財保存団体を対象に同財団の情報提供を行った(平成30年度は1件、令和元年度は5件、令和2年度は2件、令和3年度は1件同財団に補助申請)。 ・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とし協議会立上げについても意見交換を行った。 ・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能・継承活動を知るうえで貴重な機会となった。 ・「地域伝統芸能等保存事業」(一財)地域創造の助成を受け、未記録の無形民俗文化財(六所神社の獅子舞)を映像記録として保存した。			
進捗状況 ※計画年次への対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来的には市内民俗芸能団体同士が組織をつくり、発表会の開催等保存継承のための取り組みを自主的に実施できるように方向づけていく。		

状況を示す写真や資料等



地域伝統芸能保存事業
六所神社の獅子舞 撮影風景



助成対象の「山五十川古典芸能保存会」



令和3年度 民俗芸能保存団体情報交換会
(令和3年8月2日 会場: 荘銀タクト鶴岡)



令和3年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会
(令和3年12月5日 会場: 荘銀タクト鶴岡)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じ調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。
- ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、毎月第1火曜日に事業所連絡会を開催し、11～15名の出席を得て市と関係者の意思疎通を図った。連絡会の開催を通じて事業者や地域の関係者の理解を得ることにより史跡内の保存活用計画を推進できた。
- ・名勝金峯山では保存活用計画を策定後、令和3年度は関係者懇談会や保存活用検討会を開催し、所有者及び有識者による活用計画の情報共有を図り整備内容の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 埋蔵文化財等文化財調査
 - ・現地踏査実施箇所 4ヶ所 「万治ヶ沢遺跡」「矢引館跡」「郷の浜A・B遺跡近接地」等
 - ・立会調査実施箇所 8ヶ所 「国史跡松ヶ岡開墾場」「鶴ヶ岡城跡」「山田遺跡」等
 - ・試掘調査実施箇所 1ヶ所 「古郡館跡」
 - ・埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和4年1月20日現在) 公共事業 10件、民間事業185件 合計195件
- 文化財指定
 - ・文化財保護審議会 2回開催(令和3年10月8日、令和4年3月(予定))
 - ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 総会(令和3年6月2日※書面決議)
 - ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会 総会(令和3年6月1日)
- 計画策定等
 - ・第1回史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画監理委員会(令和2年12月11日)
 - ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一火曜日開催)
 - ・名勝金峯山関係者懇談会(令和3年6月30日)
 - ・名勝金峯山保存活用整備検討会(令和3年8月24日)



令和3年6月3日
古郡館跡試掘調査



令和3年8月24日
名勝金峯山保存活用整備検討会



令和3年12月15日
鶴ヶ岡城跡の馬出と思われる遺構確認

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和3年度
文化財の修理、周辺環境の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高場に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡内の整備事業として、認可地縁団体 松ヶ岡開墾場が実施した本陣屋根のグシ交換及び屋内の畳表替えに対して、市は補助金を交付して支援を行った。
- ・文化財防火デーとし、防火訓練を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ確実な実施に向けて努力していく。

状況を示す写真や資料等

○史跡松ヶ岡開墾場 本陣保存修理工事



屋根のグシ交換



畳表替え

○文化財防火デー



令和4年1月25日 旧鶴岡警察署庁舎



令和4年1月26日 羽黒山正善院黄金堂

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として小学生向け(2回)及び一般向け(2回)とし文化財めぐりを開催した。
- ・松ヶ岡開墾150年を記念し、パネル展示を開催した。また、夏休み親子勉強会を開催し普及・啓発を行った。
- ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。
- ・文化財防火デーとし、防火訓練を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和3年6月27日「文化財めぐり(小学生向け)」
(参加者親子10組 22名)
(鶴岡公園周辺)



令和3年8月8日「夏休み親子勉強会」(参加親子5組14名)
(松ヶ岡開墾場二番蚕室)



令和3年12月5日鶴岡市民俗芸能交流発表会
荘銀タクト鶴岡(来場者247名)



令和3年1月26日 文化財防火デー
旧西田川郡役所

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和3年度 掲載紙等
城下町鶴岡の歴史伝える「荘内大祭」酒井家入部400年ちなんだ大名行列 気運を上げて成功願う 松ヶ岡開墾150年事業開始式	令和3年4月7日 令和3年4月8日	荘内日報 山形新聞
松ヶ岡開墾150年祝う 子孫ら集い先人の苦勞に思い 開始式で記念事業成功に向け氣勢 トイレ、休憩室完成 羽黒山の随神門近く	令和3年4月9日 令和3年4月20日	荘内日報 山形新聞
随神門前でほっと一息 休憩室などポケットパーク完成	令和3年4月21日	荘内日報
住民が参道清掃 参拝気持ちよく 羽黒山	令和3年4月30日	山形新聞
天皇奉祝時のコートなど 高山樗牛の生誕150年展	令和3年5月7日	コミュニティしんぶん
文豪の活躍を紹介 地元出身、高山樗牛企画展	令和3年5月10日	山形新聞
風間家に伝わる五月飾りを展示 6月14日まで鶴岡馬場町「丙申堂」	令和3年5月12日	荘内日報
白と赤紫に恋する季節 鶴岡・無量光苑釈迦堂 ツツジが見頃	令和3年5月19日	山形新聞
病魔退散願い込め天狗と獅子舞 鶴岡「天祭」規模縮小し神事中心に	令和3年5月26日	荘内日報
旧庄内藩校「致道館」学風受け継ぎ半世紀超 少年少女古典素読教室開講	令和3年5月30日	荘内日報
観光モデルルート構築 酒井家入部400年記念事業実行委	令和3年6月4日	山形新聞
二ノ丸跡に交流の場 鶴岡公園整備内容 休憩施設も設置	令和3年6月10日	山形新聞
鶴岡公園正面広場整備事業 芝生広場休憩施設など 城址イメージ歴史的資源と調和図る	令和3年6月11日	荘内日報
荘厳 間に立つ 羽黒山五重塔ライトアップ	令和3年6月27日	山形新聞
国宝 羽黒山五重塔ライトアップ 日没から光に照らされ幻想的な世界を演出	令和3年6月29日	荘内日報
真新しい切子灯笼涼風に揺れ 旧風間池住宅「丙申堂」灯袋保存でレプリカつり下げ	令和3年7月16日	荘内日報
庄内の繁栄 疫病鎮静願う 荘内神社例大祭 巫女舞や奉納演武	令和3年8月18日	荘内日報
勇壮に八朔祭 コロナ収束や五穀豊穡 出羽三山神社 全国から寄せられた願い祈る	令和3年9月2日	荘内日報
「藩主の宝・藩士の宝」展 武家が大切にしたのは 致道博物館	令和3年9月1日	鶴岡タイムス
キピンの魅力満載 鶴岡・松ヶ岡開墾150年展示会	令和3年9月25日	山形新聞
2年ぶり 歴史絵巻再現 鶴岡・荘内大祭	令和3年10月7日	山形新聞
荘内大祭 2年ぶり披露 城下町・鶴岡 華やかに歴史絵巻	令和3年10月8日	荘内日報
徳川四天王「忠次公」を解説 本郷さん招き講演会	令和3年11月3日	荘内日報
城下町の歴史や文化 散策 菩提寺や御隠殿めぐる	令和3年11月5日	荘内日報
酒井家の功績、歴史解説 本郷東大史料編纂所教授が講演	令和3年11月11日	山形新聞
「三方領知替え阻止」学ぶ 致道博物館 高校生が古文書体験	令和3年11月23日	荘内日報
来年の豊作願い 優雅な舞 鶴岡・出羽三山神社で新嘗祭	令和3年11月24日	山形新聞
庄内は土族授産の先駆け 宮地東京大名誉教授が講演	令和3年11月28日	山形新聞
酒井家庄内入部400年・松ヶ岡150年記念講座 庄内土族の動向と日本近代化	令和3年12月1日	荘内日報
鶴岡市民俗芸能交流発表会 5団体が伝統の粋を披露	令和3年12月8日	荘内日報
鶴ヶ岡城の「馬出」か 工事現場で石積み確認	令和3年12月25日	山形新聞
暗闇に映える白亜の洋館 鶴岡「大寶館」恒例の年の瀬告げるライトアップ	令和3年12月25日	荘内日報
「鶴ヶ岡城」遺構の一部確認 「馬出」石積み約30個出土 絵図での存在を証明	令和3年12月26日	荘内日報
白き羽黒に 赤々と 鶴岡・松例祭 安寧願う炎	令和4年1月1日	山形新聞
疫病退散願い込め 雪の羽黒山頂 出羽三山神社「松例祭」	令和4年1月4日	荘内日報
住まいのまちなみ賞受賞 手向地区自治振興会 出羽三山へ通じる宿坊街 歴史的景観保全高く評価	令和4年1月15日	荘内日報
住まいのまちなみコンクール 手向地区振興会が受賞 本県初 宿坊街の保全活動評価	令和4年1月18日	山形新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の各重点区域における歴史的風致について広く報道され情報発信されている。
 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等の開催が見送られた経過もあるが、歴史ある歴史的建造物や伝統文化・祭礼のほか、令和3年度に松ヶ岡開墾150年、令和4年度に酒井家庄内入部400年を迎える取り組みに関する報道も行われており、本市の歴史的風致・文化・まちづくりに対する関心が喚起され、広く周知されていると考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



令和3年10月31日 講演会



鶴岡市民俗芸能交流発表会

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数については、計画認定を受けた平成25年は2,760人であったが、当該計画事業実施による歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の構築が図られ、以後毎年増加傾向にあり、令和元年においては13,047人と4.7倍の増加となっている。

※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、統一感のある修景整備を行うことで良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図れている。

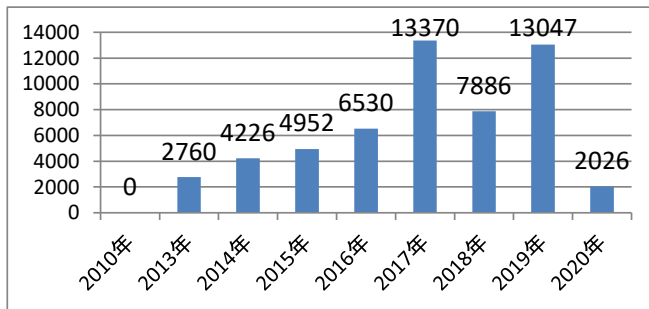
平成29年度から修景整備に取り組み、これまで32件の整備が行われた。道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内外の観光客等にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区宿坊街の歴史的風致が体感できる空間を構成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



※観光庁より

○訪日外国旅行者数

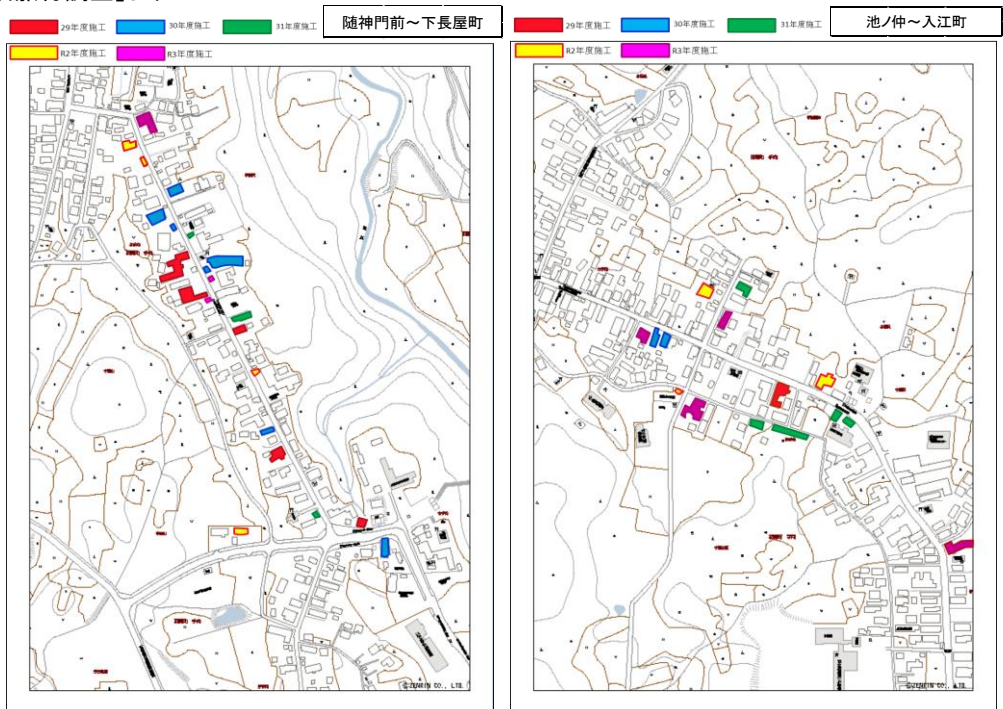
2019年: 3,188万人→2020年: 412万人(△87.1%)

○鶴岡市における外国人宿泊者数

2019年: 13,047人→2020年: 2,026人(△84.5%)

鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移(人泊)

※観光庁「宿泊旅行調査」より



【羽黒手向地区】

宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業

○事業実績: 32件

・平成29年度: 6件

・平成30年度: 7件

・令和元年度: 6件

・令和2年度: 6件

・令和3年度: 7件

評価軸⑥-2

その他

		評価対象年度	令和3年度
項目			
歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応			
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と本市の歴史・まちづくり、歴史的風致維持向上計画説明により、計画の周知を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月10日 春のオープンキャンパス(酒井家庄内入部解説) 東北公益文科大学 門松秀樹准教授 対象者:市民 約30名 ・令和3年4月28日 鶴岡信用金庫地域観光研修 観光地域づくり法人DEGAM鶴岡ツーリズムビューロ 対象者:鶴岡信用金庫職員 4名 ・令和3年8月8日・9日 郷土をテーマにした動画制作 鶴岡公園・羽黒松ヶ岡開墾場 他 対象者:地元高校生 13名 ・令和3年9月18日 松ヶ岡開墾150年トークショー オンライン配信 ・令和3年9月30日 出前講座(旧庄内藩酒井家等の歴史・文化) 酒井家庄内入部400年記念実行委員会 対象者:鶴岡第3中学校1年生徒 約200名 ・令和3年10月19日 令和3年度山形県景観形成研修(応用編)の講演(オンライン) 対象者:山形県・市町村職員 約100名 ・令和3年10月31日 歴史講演会 東京大学史料編纂所 本郷和人教授 対象者:市民 約250名 ・令和3年10月31日 酒井家ゆかりのまちなかめぐり 鶴岡商工会議所 対象者:市民 約30名 ・令和3年11月20日 親子で参加 こども記者プロジェクト 羽黒松ヶ岡開墾場 対象者:市民 約20名 ・令和3年11月21日 古文書体験 致道博物館 対象者:市内高校生 7名 ・令和3年11月27日 酒井家庄内入部400年記念プレ事業・松ヶ岡開墾150年記念歴史講座 東京大学 宮地正人名誉教授 対象者:市民 約160名 <p>令和3年度は、他団体等からの視察依頼など、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対応件数は例年に比べ極端に少なかった。</p> <p>一方で、令和3年度に松ヶ岡開墾150年、令和4年度に酒井家庄内入部400年の節目を迎え、歴史・文化・まちづくりに関する講演や講座等が多く開催され、市民をはじめ、情報発信・普及啓発が図られた。</p> <p>また、地域住民や歴史的建造物所有者等の自主的な活動は継続され、住まいのまちなみコンクールで受賞するなど、歴史的風致の維持向上を図る取り組みは高く評価されている。</p>			

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和4年2月16日(水) 15:00	
(コメントの概要)	
<p>【会議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業についての評価・報告、令和4年度事業計画の承認・鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更(軽微な変更)についての承認 <p>【主なコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆事業全般 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でありながら活発なイベントや事業が実施され、とても関心した。 ◆鶴岡公園園内整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡公園は、国有地が6割、4割が市有地である。国から市が無償で借りているという形だと思うが、正面広場周辺は市有地ということか。 →県道から北側の鶴岡公園内の公園として開設している場所はほぼ国有地で国の管理であるため、整備する上では随時協議をさせていただいている。 ◆歴史的建造物の表記 <ul style="list-style-type: none"> ・大宝館の表記は統一したほうが良い ◆歴史的風致形成建造物等 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致維持向上計画の歴まち法の中には、歴史的風致形成建造物や樹木が指定できる項目があったと記憶している。文化財に指定されていないような建造物などもちゃんと位置付け、鶴岡の歴史的風致に関わるものをどんどん今後増やしていければいいと思う。 ・歴史的な建造物などのリストを作り検討するなど、次年度に向けて検討してほしい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における事業やイベント等の推進については引き続き状況を勘案しながら実施していく。 ・進捗評価シート等を精査し、表記を統一するよう努める。 ・1期計画においても歴史的風致形成建造物を指定しているが、令和5年度からの次期計画も見据え、歴史的風致のある建造物等の調査、候補の選定などを検討してまいりたい。 	